

25日 木曜

創世記

14:1さて、シンアルの王アムラフェル、エラサルの王アルヨク、エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティデアルの時代のことである。

14:2これらの王たちは、ソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アデマの王シンアブ、ツエボイムの王シェムエベル、ベラすなわちツオアルの王と戦った。

14:3この五人の王たちは、シディムの谷、すなわち塩の海に結集した。

14:4彼らは十二年間ケドルラオメルに仕えていたが、十三年目に背いたのである。

14:5そして十四年目に、ケドルラオメルと彼に味方する王たちがやって来て、アシュタロテ・カルナイムでレファイム人を、ハムでズジム人を、シャベ・キルヤタイムでエミム人を、

14:6セイルの山地でフリ人を打ち破り、荒野の近くのエル・パランまで進んだ。

14:7それから彼らは引き返して、エン・ミシュバテ、すなわちカデシュに至り、アマレク人の全土と、さらにハツエツォン・タマルに住んでいるアモリ人を打ち破った。

14:8そこで、ソドムの王、ゴモラの王、アデマの王、ツエボイムの王、ベラすなわちツオアルの王は出て来て、シディムの谷で戦う備えをし、

14:9エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティデアル、シンアルの王アムラフェル、エラサルの王アルヨクと対峙した。この四人の王と、先の五人の王とであった。

14:10シディムの谷には瀝青の穴が多くあり、ソドムの王とゴモラの王は逃げたとき、その



Bible Reference
聖書の記述

穴に落ちた。そして、残りの王たちは山の方に逃げた。

14:11四人の王たちは、ソドムとゴモラのすべての財産とすべての食糧を奪って行った。
14:12また彼らは、アブラムの甥のロトとその財産も奪って行った。ロトはソドムに住んでいた。

14:13一人の逃亡者が、ヘブル人アブラムのところに来て、そのことを告げた。アブラムは、アモリ人マムレの桺の木のところに住んでいた。マムレはエシュコルとアネルの兄弟で、彼らはアブラムと盟約を結んでいた。

14:14アブラムは、自分の親類の者が捕虜になったことを聞き、彼の家で生まれて訓練された者三百十八人を引き連れて、ダンまで追跡した。

14:15夜、アブラムとそのしもべたちは分かれて彼らを攻め、彼らを打ち破り、ダマスコの北にあるホバまで追跡した。

14:16そして、アブラムはすべての財産を取り戻し、親類のロトとその財産、それに女たちやほかの人々も取り戻した。

当時、この地には数々の支配者とその都市国家が存在していました。それらは一国では弱いので連合を作り、敵と争いつつ安定を保とうとしていました。ロトはそのような都市の一つであるソドムの近くに住んでいました。古今の都市が人を惹きつけるものは何でしょうか。それは商業などによる富の豊かさ、様々な快楽、情報や人との交わりなどでしょう。ロトもそれらの恩恵にあずかっていたでしょうが、それは当然、都市の持つ危険とも隣り合わせだったのです。危険とは競争であり戦いであり、墮落であり、財産と身に及ぶものです。

現代も同じで、私たちは社会の恩恵と危険を共に受ける可能性があります。ロトが自分の豊かな生活を優先させて、その価値観でソドムに生きた例には倣わないようにしましょう。現代社会に生きながらも、この世の自己中心的な価値観、神無視の価値観に流されないで、神への従順に生きましょう。

なぜなら、ロトのときのように、危険から救い出してくださるのは神であり、また神が守るのは神によって生きる人々だからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

